



渡辺 功 議員

# 行政改革の総括と評価

## おおむね達成できた

**Q** 行政の効率の悪いシステムの見直しが必要。

①第3次行政改革の総括を重点実施事項別に報告を。  
②本行革の評価と課題は。  
③私が行政運営上の問題と感じている(1)組織の縦割り(2)単年度予算(3)前例踏襲主義(4)年功序列制度について、行政側の見解は。

④役場の効率的な組織運営にむけ、現行の部や課・係の再編の考えは。

**A** ①別紙(表)  
②目標は概ね達成できた。

③(1)国や県との関係もあり組織改編は難しいが、各所管の配置などわかりやすくしたい。(2)会計年度は地方自治法で規定されている。(3)職員自ら事務事業評価をすることでマンネリ化を防ぐ。(4)人事評価制度を導入し、能力、実績に応じた人事管理を行う。  
④来年度より機構を改革する。

①別紙(表) 第3次行政改革

| 項目                    | 内容                                           | 影響額      |
|-----------------------|----------------------------------------------|----------|
| 1 事務事業の見直し            | 規制緩和の推進<br>補助金等の整理合理化                        | △38,562  |
| 2 組織・機構               | 機能的に展開できる組織・機構の見直し<br>職員配置の見直し               | △277,024 |
| 3 定員及び給与              | 定員適正化計画の策定<br>給与の適正化                         | △134,674 |
| 4 行政の情報化              | 庁内LANの活用<br>計画的なパソコン導入                       | +23,064  |
| 5 行政サービスの向上           | 公共施設利用申し込みの簡素化                               | +9,844   |
| 6 公正の確保と透明性の向上        | 住民への情報提供                                     | +8,475   |
| 7 経費の節減合理化<br>等財政の健全化 | 自主財源の確保<br>予算の厳正な執行<br>経費の節減合理化<br>受益者負担の適正化 | △74,253  |
| 8 公共施設                | 既存施設の有効利用                                    | △3,000   |
| 9 公共工事                | コスト削減<br>適切な入札方式の採用                          | △66,233  |
| 合計                    |                                              | △552,363 |

(単位: 千円)

## 予算編成と事業仕分け 第5次総合計画に沿って進める

**Q** 全国の自治体で事業仕分けが採用される中で①前例を踏襲した仕事に流されてはいないか。②新年度予算編成にあたり、事業検証をどのように行っているのか。③24年度予算編成にむけて、税収等考慮すべきことは。

**A** ①今年度よりスタートした第5次総合計画に沿って予算編成を進める。②行政評価と予算査定での精査により行っている。③地方財政計画が未公表だが、大きな税制度改正などの情報は入っていないので、今年度並みの税収は確保できるものと見込んでいる。

## 新年度予算に反映を 『スポーツ村』

**Q** ①維持管理の年間費用は。②全体の利用状況は。③市民の利用実態は。④市民が有効活用できる多目的グラウンドへの再整備を。

**A** ①平成23年度の歳入予算額は、318万8千円、歳出予算額は、359万6千円。②平成22年度の実績は、野球場159回、陸上競技場・団体315回、個人1365人、トレーニング室8264人の利用があった。③野球場は、町内の野球連盟・グラウンドゴルフ協会や中学校など、陸上競技場は、サッカー協会・愛知駅伝選考会・小中学校などが利用している。他

にも子育て支援センターも利用している。④本町のスポーツを推進する上で中核となる施設がスポーツ村と位置付けており、今後も市民の皆様が利用しやすい施設となるよう、引き続き研究していく。

## 『ダイヤモンド・金婚者お祝いの会』

**Q** 行政事業として、式典まで必要なのか。

①対象ご夫婦に記念品をお届けしお祝いとしては

**A** ①本年のお祝いの会は、実行委員会で内容を精査し、経費の縮減を図り実施した。また、社会教育委員協議会の委員にも参加いただき、会の開催状況などを確認され、協議会として「今後とも継続という方向で一致した。」とする報告書をいただいたので、事務局としては、この協議結果を尊重して、事業を実施していく。

## 『広報あぐい』

**Q** ①発行に要する年間総費用は。②内容を精査し、月1回の発行に変更しては。

③集約した場合の費用効果はどの位か。

**A** ①広報あぐいの印刷代とホームページ用ウェブ版作成委託を併せて年間約1千万円。②発行回数を減らすと行政情報が遅れ、また、ページ数を抑制するため文字の縮小などが行われ、読みづらくなるので現行の発行回数を継続する。

③内容を圧縮しても一部当たり現在の平均20ページが35ページ程度に増加するので、10〜13%程度の削減となる見込み。